臨床調查個人票

	新規	更新
-		 

## 074 下垂体性 PRL 分泌亢進症

■ 行政記載欄 受給者番号 判定結果 □ 認定 | 不認定 ■ 基本情報 姓 (かな) 名 (かな) 姓 (漢字) 名 (漢字) 郵便番号 住所 \*以降、数字は右詰めで 生年月日 西暦 年 月 日 記入 □ 1. 男 性別 2. 女 出生市区町村 姓 (かな) 名 (かな) 出生時氏名 (変更のある場合) 姓 (漢字) 名 (漢字) 1. あり 2. なし 3. 不明 発症者続柄 2. 母 □ 3.子 □ 1. 父 4. 同胞 (男性) 5. 同胞(女性) 6. 祖父(父方) 7. 祖母(父方) 家族歴 □ 8. 祖父(母方) □ 9. 祖母(母方) 10. いとこ □ 11. その他 \*11 を選択の場合、以下に記入 続柄 発症年月 西暦 年 月

社会保障	
介護認定	□ 1. 要介護 □ 2. 要支援 □ 3. なし
要介護度	1     2     3     4     5
生活状況	
移動の程度	<ul><li>□ 1.歩き回るのに問題はない</li><li>□ 2.いくらか問題がある</li><li>□ 3.寝たきりである</li></ul>
身の回りの管理	<ul><li>□ 1. 洗面や着替えに問題はない</li><li>□ 2. いくらか問題がある</li><li>□ 3. 自分でできない</li></ul>
ふだんの活動	<ul><li>□ 1. 問題はない</li><li>□ 2. いくらか問題がある</li><li>□ 3. 行うことができない</li></ul>
痛み/不快感	□ 1. ない □ 2. 中程度ある □ 3. ひどい
不安/ふさぎ込み	<ul><li>□ 1. 問題はない</li><li>□ 2. 中程度</li><li>□ 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる</li></ul>
■ 診断基準に関する! 診断	事項
PRL 産生下垂体腺腫	□ 1. あり □ 2. なし
他の下垂体病変	□ 1.あり □ 2.なし
	疾患名
下垂体茎 • 視床下部病変	□ 1. あり □ 2. なし
	疾患名
診断根拠	

## A. 症状

理学所見			
身長	cm	体重	kg .
脈拍	回 回/分	体温	
拡張期血圧	mmHg	収縮期血圧	mmHg
主症状(治療前)			
検査日	西暦 年	月	Ħ
月経不順・ 無月経 (女性のみ)	□ 1.あり □ 2.なし	不妊 (女性のみ)	□ 1.あり □ 2.なし
乳汁分泌	□ 1.あり □ 2.なし	性欲低下 (男性のみ)	□ 1.あり □ 2.なし
女性化乳房 (男性のみ)	□ 1.あり □ 2.なし	頭痛	□ 1.あり □ 2.なし
視力・ 視野障害	□ 1.あり □ 2.なし	陰萎 (勃起障害) (男性のみ)	□ 1.あり □ 2.なし
	□ 1.あり □ 2.なし		
その他	その他の内容		
合併症	,		
骨粗しょう症	□ 1.あり □ 2.なし		
その他合併症			
	□ 1.あり □ 2.なし		
┃ 病態変化の ┃ 有無(更新) ┃ ┃ ┃	内容		

## B. 検査所見 \*小数点も1文字として記入する

血清検査						
	1回目	西暦	年	月	Image: section of the content of the	
₩ <b>*</b> /₩ □ □	2回目	西暦	年	月	Ħ	
検査年月日 	3回目	西暦	年	月	Ħ	
	治療後	西暦	年	月	Ħ	
血清 PRL 値	1回目		ng/mL	2回目		ng/mL
IIII.(月 F.KL / 巨	3回目		ng/mL	治療後		ng/mL
血清 PRL 値 (基準値)	(自)		ng/mL	(至)		ng/mL
他の下垂体ホルモ	テン分泌					
LH•FSH系		□ 1. 正常	□ 2.4	氐下	□ 3. 亢進	
TSH系		□ 1. 正常	□ 2. 但	氐下	□ 3. 亢進	
ACTH 系		□ 1. 正常	□ 2. 但	氐下	□ 3. 亢進	
GH系		□ 1. 正常	□ 2. 但	氐下	□ 3. 亢進	
バソプレシン系		□ 1. 正常	□ 2. 但	氐下	□ 3. 亢進	
画像検査						
検査年月日 (MRI またはCT)	) 西原	<b>*</b>	年	月	日	
		1. あり	] 2.なし			
下垂体腺腫の有	所見	□ 1.微小	腺腫(10mm 以下	<del>(</del> )	2. マクロ腺腫(10mm を <b></b>	買える)
		1. あり	] 2.なし			
視床下部病変 <i>0</i> 有無	具体病変	s的な S				
	変化	1. あり		2. 7	Til	
種々の原因によ 高 PRL 血症	<sup>-</sup>	1. あり	] 2.なし			

C. 鑑別診断						
以下の疾病を鑑別し、 除外できた疾病には		□ 1. 全	て除外可	<u> </u>	余外不可	□ 3. 不明
□ 1.薬物服用による	5 PRL 分泌過剰	2. 原発性	甲状腺機能低	氐下症	□ 3. 異所	性 PRL 産生腫瘍
□ 4.慢性腎不全		5. 胸壁疾	患			
<診断のカテゴリー>						
Definite:①および	②を満たす	□ 1.該	当	□ 2. ∮	<b>非該当</b>	
□ ① A. の主症状の	の1項目を満たす					
	② 血清 PRL 基準値の上昇(複数回、安静時に採血し免疫学的測定法で測定していずれも 20ng/mL 以上を確認できるもの)を認めるもの					≟れも 20ng/mL
症状の概要、経過、特	記すべき事項など *:	250 文字以内	 かつ 7 行以内			
■ 発症と経過						
既往症(女性のみ)						
妊娠・分娩歴	□ 1.あり	□ 2.な	L			
初経時期	歳		閉経時期	]		歳
■ 治療その他						
治療	□ 1. あり	2.な	L			
治療経過						

薬物療法	
薬物治療の有無	□ 1. あり □ 2. なし
	□ 1. あり □ 2. なし
プロモクリプチン	投与量
	期間
	□ 1. あり □ 2. なし
カベルゴリン	投与量
	期間
	□ 1. あり □ 2. なし
テルグリド	投与量
	期間
	□ 1. あり □ 2. なし
	薬剤名
その他	投与量
	期間

手術療法			
□ 1. 実施	2. 未実施		
種類	□ 1. 経蝶形骨洞	□ 2. 開頭	
施設名			
手術日	西暦	年 月 月	日
治療効果	□ 1. 改善	□ 2. 不変 □ 3. 悪化	□ 4. 不明
その他の治療			
□ 1. 実施	2. 未実施		
内容			
実施日	西暦	年 月 月	日
治療効果	□ 1. 改善	□ 2. 不変 □ 3. 悪化	□ 4. 不明
下垂体照射(更	更新)		
□ 1. 実施	2. 未実施		
施設名			
照射日	西暦	年 月 月	日
治療効果	1. 改善	□ 2. 不変 □ 3. 悪化	□ 4. 不明
■ 重症度分類	 に関する事項 最も重症度の高	い項目を疾患の重症度とする	
	軽症	中等症	重症
血清 PRL 濃度	☐ 20~50ng/mL	☐ 51~200ng/mL	□ 201ng/mL以上
臨床所見	□ 不規則な月経	<ul><li>無月経・乳汁漏出、</li><li>性機能低下</li></ul>	<ul><li>無月経・乳汁漏出、</li><li>性機能低下、</li><li>汎下垂体機能低下</li></ul>
画像所見他	□ 微小下垂体腺腫 種々の原因による 高 PRL 血症	□ 下垂体腺腫 種々の原因による 高 PRL 血症	<ul><li>□ 下垂体腺腫 (含む巨大腺腫)</li></ul>

## ■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用の有無	□ 1. あり		
開始時期	西暦	F 月	
離脱の見込み	□ 1. あり	2.なし	
種類	□ 1. 気管切開孔を介した	人工呼吸器	
	□ 2. 鼻マスク又は顔マス	クを介した人工呼吸	器
施行状況	□ 1. 間欠的施行	□ 2. 夜間に継続的	りに施行
WE114/4/C	□ 3. 一日中施行 □ 4. 現在は未施行		
	食事	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
	車椅子とベッド間の移動	□ 自立	□ 軽度介助
		□ 部分介助	□ 全介助
	整容	□ 自立	□ 部分介助/不可能
	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
生活状況	入浴	□ 自立	□ 部分介助/不可能
生活-{人/元	歩行	□ 自立	□ 軽度介助
	2/11	□ 部分介助	□ 全介助
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助 □ 不能
	着替え	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助

医療機関名	
指定医番号	
医療機関所在地	
電話番号	*ハイフンを除き、左詰めで記入
医師の氏名	印 ※自筆または押印のこと
記載年月日	西暦 日 月 日
診断年月日	西暦 日 月 日 日

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近 6 か月間で最も悪い 状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、

<u>「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12日健発 1112 第 1 号健康局長通知)</u>を参照の上、ご記入ください。

- ・診断年月日欄には、本臨床調査個人票に記載された内容を診断した日を記載してください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。